

平成31年度事業計画

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援の推進
就職アドバイザー（鳳陽会会員）による個別相談、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる模擬面接の実施等
- (2) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 職業会計人を目指す学生への奨学金給付（柳上育英基金）
 - ② 全国大学対抗簿記大会及び海外研修費用（簿記大会団体優勝メンバーを含む。）の助成
 - ③ 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰
- (3) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
 - ① 英会話特訓講座開講に要する経費の一部を助成
 - ② 短期海外語学留学に対する支援
- (4) 卒業生、在学生の各学年、各学科の成績優秀者及びTOEIC成績優秀者の表彰
- (5) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (6) 学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業記念パーティー」への助成
- (7) 山口大学後援財団の日中学术交流事業への支援

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会活動（ホームカミングデー等）への積極的参加
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業時、卒業生（新会員）へ鳳陽会紹介冊子「花なき山の・・・」を配付し、記念品（シャープペンシル）を贈呈。また、学生主催の「卒業記念パーティー」への会員の積極的な参加による交流促進
- (4) 新入学生の「保護者懇談会」、学年別オリエンテーション等で「鳳陽会」の組織、活動内容等を具体的に紹介し、同窓会活動に対する理解を促進
- (5) 山口支部総会への学生招待等、学生（留学生を含む。）と各支部との交流への積極的支援
- (6) 寮歌祭参加支部への支援（中央寮歌祭）
- (7) 本部ホームページの改善、支部ホームページの開設

3 同窓会関係事業

- (1) 新卒業生や既卒業生の動静把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静の一層の把握に努める。
- (2) 各支部総会への本部からの出席等を始めとする支部に対する積極的支援により、支部組織の強化・再編に取り組む。

- (3) 各支部総会等において、山口大学、経済学部の資料及び山口地域の情報を提供する。
- (4) 各支部との連携による会員の動静管理、鳳陽会関係資料の一層の充実や、会員データの迅速な検索、抽出及び提供に努める。(会員限定)
- (5) 山口で開催される同期会等を積極的に支援する。
- (6) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善の一方策として、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる「寄付制度の創設」について、検討を進める。
- (7) 通常総会を全国の主要都市持ち回りで開催し、同窓生の交流に資する。

平成 31 年度：第 89 回通常(全国)総会、6 月 1 5 日 (土)、福岡市の西鉄グランドホテルで開催

4 会報発行事業

内容の充実を図るとともに、会員及び学生からも親しまれる、読みやすい機関誌「鳳陽」を目指して、従前どおり、年 3 回発行、編集する。

- (1) 第 166 号 (5 月発行) は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付
- (2) 第 167 号 (9 月発行)・第 168 号 (1 月発行) は、当会の財政状況を踏まえ、正会員 (年会費納入会員及び賛助会費納入会員) のみに送付
- (3) 経済学部の教官 (現・旧) や在学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付

5 本年度の重点施策 (再掲)

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会活動の活性化を図って次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、引き続き「アンケート結果に基づく具体策への取組」を進める。

(1) 組織運営体制の強化

同窓会活動の基本である会員の動静把握に努めるとともに、支部組織の強化・再編に取り組み、鳳陽会の組織運営体制の強化を図る。

(2) 鳳陽会活動の活性化

支部活動の支援、ホームページの改善・充実、寄付制度の創設、機関誌「鳳陽」の内容の充実を始めとする「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策についての検討・取組を進め、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図る。

平成31年度 収支予算

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,455,000	3,069,000	386,000
受取入会金	6,800,000	7,600,000	△ 800,000
受取会費	3,200,000	3,200,000	0
受取寄付金	100,000	100,000	0
受取広告料	560,000	665,000	△ 105,000
受取利息	5,000	5,000	0
雑収入・その他	4,070,000	70,000	4,000,000
経常収益合計	18,190,000	14,709,000	3,481,000
(2) 経常費用			
① 事業費	16,204,000	20,071,000	△ 3,867,000
給料手当	3,480,000	3,278,000	202,000
福利厚生費	505,000	480,000	25,000
教育援助費	6,140,000	2,140,000	4,000,000
情報交流費	1,570,000	2,020,000	△ 450,000
減価償却費	521,000	521,000	0
通信運搬費	1,420,000	1,450,000	△ 30,000
消耗品費	50,000	30,000	20,000
「鳳陽」刊行費	1,450,000	1,850,000	△ 400,000
同窓会事業費	900,000	8,134,000	△ 7,234,000
光熱水料費	168,000	168,000	0
② 管理費	4,852,000	4,933,000	△ 81,000
給料手当	1,434,000	1,426,000	8,000
福利厚生費	220,000	218,000	2,000
会議費	150,000	150,000	0
旅費交通費	680,000	580,000	100,000
通信運搬費	400,000	440,000	△ 40,000
減価償却費	223,000	223,000	0
消耗品費	50,000	130,000	△ 80,000
消耗品什器備品費	80,000	80,000	0
修繕費	40,000	40,000	0
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	700,000	760,000	△ 60,000
租税公課	273,000	284,000	△ 11,000
雑費	530,000	530,000	0
経常費用合計	21,056,000	25,004,000	△ 3,948,000
当期経常増減額	△ 2,866,000	△ 10,295,000	7,429,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(1) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,866,000	△ 10,295,000	7,429,000
一般正味財産期首残高	50,441,996	60,701,996	△ 10,260,000
一般正味財産期末残高	47,575,996	50,406,996	△ 2,831,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減高	0	0	0
指定正味財産期首残高	170,300,000	120,300,000	50,000,000
指定正味財産期末残高	166,300,000	120,300,000	46,000,000
III 正味財産期末残高	213,875,996	170,706,996	43,169,000

注) 上記収支予算(案)は、平成20年会計基準の損益ベースで作成

